暮らしとお金のアドバイザー
夢と希望のライフプラン
Livelih00d ライブリフッド プランニング Planning
Personal life design and financial planning --- for you and your family
〒616-8106 京都府京都市右京区太秦森ヶ西町１８－２－４０６ ライブリフッドプランニング 代表 竹本隆之 http://www.livelihood.jp

投資信託（その３）

何のため？何を買う？

そもそも貴方は投資する必要があるか

昨年から、アメリカの低所得者向け住宅ローンの破綻の影響で日本・アメリカはもとより世界中の株式・債券が売られています。近年投資信託が好調だっただけに日本でも多くの方が損失を抱える状況になっています。

私の所にも「これからどうしたらいいでしょうか？」などという時折相談が舞い込んでおりますがここで、全体的な他の投資信託の状況をご説明しましょう。

モーニングスターのサイトにて、一年リターンの悪い順を調べてみました。どれも一年で、半分くらいになってます。

あなたの投信はいかがでしたか？

今損をしている人の中には、投資で損するくらいならしない方が良かった、と考える人も多いでしょう。

今一度、投資する必要があったかどうか考えてはいかがでしょうか。で私の意見を言うと、ずばり

投資の必要、あります。

何故かというと物価上昇です。

金利が６％も７％もあった時代は、十年間で二倍程度になりましたが、今はそれは望めません。少なくとも物価上昇分の投資が必要だと思っています。あくまでも私の考えです。

リスクを考えると投資額は、全体資産の一割～二割。

相談に来られる方は、必ずと言っていいほど、投資割合が大きいのです。つまり、自分のリスク許容度以上のリスクを抱えているということ。

一千万の資金があって、そのうちの百万円が半分になった。こういう方は全体から見れば損失はわずかです。そして、もし逆に百万が二倍になったら二百万。全体で千二百万円。これでも定期預金よりも十分に利回りが稼げている計算になります。

景気は大体５～７年で浮いたり沈んだりしますから投資期間は十年間くらい必要だと思います。

この景気の波を考えることこれが投資の重要ポイントです。

景気の波に乗れば簡単に収益があがります。しかし逆の時は難しい。

そんな時はどうすればいいでしょうか？

確実に利益を出していく方法を次のページでご紹介します。

最悪の投信　ワースト７

（2008.3 月現在）

	1年リターン
●ポーラスター・オプションファンド 『愛称：盆栽名人』 フォルティス	-69.7%
●小型株ファンド 『愛称：グローイング・アップ』 安　田	-49.1%
●ＳＢＩ　小型成長株ファンド 『愛称：ｊｃｏｏｌ』 ＳＢＩアセット	-49.0%
●スーパーグロース小型株オープン フォルティス	-49.0%
●フォルティス　日本小型株オープン 『愛称：チャンスメーカー』 フォルティス	-48.8%
●エース新小型成長株 『愛称：グランドスラム・ジャパン』 フォルティス	-48.6%
●日興　グローイング・ベンチャー 日　興	-46.7%

最高だった投信

（2008.3 月現在）
1年リターン

◆新光Ｗベア･日本株オープン　+42.3%
新　光

暮らしとお金のアドバイザー　ライブリフッド プランニング

ライフプラン　住宅ローン　資産運用　家計相談　保険　相続　老後資金

皆様にお役立て戴くための宣伝用情報誌です。

確実に収益を出すには

確実に儲かる！、なんてうまい話があるわけはありません。そんなものがあったら私がやっています。でもね、

数％程度の利回り

これならそんなに難しくありません。なぜ難しくないかというと物価と連動する物が数多くあるからです。これが上がる・あれが上がる、での判断は難しいですが、全体が上がるのならそんなに難しくない。

簡単に言うと景気の小さい波をとらえるのです。ただ小さい波なので見込みはずれもあるでしょう。だから、下がったら買い増すとか、毎月定期的に買う。そして、上がってきたら、徐々に解約する。

これで数％程度なら可能だと思います。私も、この数％の投資もしっかりやった上で株式投資もやっています。

損したままは損

余剰資金を考えていないから安くなっても買い増しできないし、損切りもできない。こんな方、多いです。

売らない限り損は確定しないとひたすら基準価格が上がるのを待つ人、よくいます。

でも、もし、その投信が下がっていきそうなら、

「下がるモノをなぜ持っているのか」

自問自答してください。

一旦売って、底値で買い増す方がよほどいい。

長年定期預金という安全性の高い物しか持ったことのない人は、この下がっていくモノを持つ感覚がありません。だからいつまで経っても売れないのです。

お金の三分類

お金は所詮、使ってこそ意味があります。人生の充実のために使うこと、私はそれが大事だと思います。

●一攫千金は慣れてから
　ほんの少しの資金でする
●着々「小儲け」に徹する
●損切りも時には必要
●でも本当に必要なのは
　「使う・守る・殖やす」
　を分けるライフプラン

●使うお金
●守るお金
●殖やすお金

殖やすお金のために使えなくなった、これではいけません。

「住宅購入の頭金を投資」

損してしまったら、家が買えない訳です。

退職金で投資する場合に陥りやすい誤解。

「殖えた分を使う」

これが予定通りに殖えないから困るわけですね。景気の波は数年単位ですから、使う予定が数年単位で遅らせられるのならそれでもいいでしょう。間違っても一年で殖えるとか二年で殖やすとか考えないでください。

人生に必要なお金の

三分類

使うお金

守るお金

殖やすお金

一年二年では殖やせない！

そう思って、もう一度三分類を見直しましょう、中には

「本当に投資する必要があるのか？」なんて思う人も出てくるでしょう。

自分の幸せ・人生の充実のためには、何が必要かって考えると、やはり自分の人生の計画なんだと思います。漠然とお金を使い、漠然と投資して漠然と損したり儲けたり。それでは人生の充実とは言えないでしょう。私のように投資そのものが興味の対象で趣味の一つならそれもいいでしょうが、殖やすことに必要以上の手間暇をかけるのは普通はあまりお奨めしたくないです。

「人生の質を向上させたい」、是非、貴方もお金の三分類をしてみてください。

お金の三分類をしてみたい方、貯蓄が心配だしライフプランを考えたい方、人生もっと充実させたい方。

そんな方は、是非ご相談ください。

貴方のライフプランと損をしない
資金計画作り
ご相談は　ライブリフッドプランニングへ